

母校に行ってきました。 「課題研究」てどんな授業？

「課題研究？」聞き慣れない会員も多くいるだろう。課題研究は約30年前に専門教科の新しい科目となったと聞く。教わる授業から一人ひとりが考え実践する授業へと大きく変化している。授業の目的を曲田雄三先生（通算103回卒・静岡硬式野球部監督）にお書きいただいた。



商業高校でしかできない「ビジネスの視点を取り入れた課題研究」の授業風景

「課題研究」の授業について

商業科 曲田 雄三

課題研究は、商業に関する学科における原則履修科目に位置付けられており、商業の

各分野で身に付けた知識などを基に、自ら課題を設定し、その解決を図る学習を通して、

専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自ら学ぶ学習態度を育てることを目標に設定されています。

本校では、生徒が主体的かつ協働的に課題解決に向けて、取り組むことができるよう十三の講座を用意しています。大学のゼミ活動のように、商業科の教員を中心に研究テーマを掲げ、生徒が関心のある講座を選択し研究します。開講しているテーマは多岐にわたり、地方創生、情報化の推進、静岡の産業、投資、商品開発、福祉など、教師がそれぞれの得意分野や人脈を駆使しながら生徒にとって有意義な学びとなるように計画されています。

大きな特徴は、従来の教師主導の授業ではなく、生徒主体の学習であり、他者との協働の学びであるということです。仲間との連携はもちろん、チームの内容に即して、産学官と連携する中で、社会に通じるコミュニケーション能力を高め、さらに商業高校生として「ビジネスの視点」も忘れずに学んでいます。多くの学校で探究活動が進んでいますが、商業高校でしかできない「ビジネスの視点を取り入れた」学びこそが「課題研究」です。本校の課題研究は県内の商業高校でも先進的な取り組みであり、全国の高校からの視察も多くあります。

私が担当するのは「SDGs探究」です。SDGsの概念を学習したのちに、地方創生をSDGsの角度から実現することを目指し、その活動を通して地域経済の発展に寄与することをテーマにしています。

今年度は、清水エスパルスとの連携事業として子ども体操教室の実施やコラボグッズ制作、地元信用金庫と校内フードドライブの実施、大学野球オータムフレッシュリーグでの大会記念グッズ



課題研究授業のイベント。地域の発展を担う商業人の育成を目指す。

制作やスポーツ管理栄養士と協働したアスリート弁当の開発などに取り組みました。生徒は外部との連携を通して社会を知り、社会人として必要な資質を身に付けていきます。また、来場者を増やすためのプロモーション活動や、商品売るための工夫など、マーケティングの知識が活用されています。

課題研究を効果的に進めていくとすると、生徒の交通費、ブースの出店料、講師への謝礼など生徒に金銭的負担がかかることが大きな問題になります。また、講師などの人材確保も重要です。本校では同窓会の皆様のご支援により、生徒が地域で活動することがスムーズに行うことができます。本校の「課題研究」は、これからの地域とつながり、地域と学ぶ教育の推進をすすめていくための柱となる授業であると考えています。

同窓生の皆様には地域の発展を担う商業人の育成にお力添えをいただいています。これからの感謝するとともに、これからも課題研究の授業を通して地域で活躍する静商生にご期待ください。ぜひ、イベントで静商生を見かけたら励ましの言葉をいただけたらと思います。卒業生の皆様のお声かけが生徒の母校への想いを強くするものであり、地域に存在する静商を実感する瞬間だと思います。これからも卒業生の皆様のご期待に沿える生徒の育成に寄与していきます。本校の教育活動に引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

（関連記事 二面教育振興委員会）

「恩師を訪ねて」小関忠義先生



先生が編集に尽力された「静岡軟式庭球部の歩み」

八十八歳米寿を迎え尚現役。町内自治会長約十年・地区社会福祉推進協議会会長二年・ソフトテニススクール指導者三十年を継続中。

これまでに、静岡市教育文化功労章・静岡市体育協会体育功労章・日本ソフトテニス連盟支部功労章などを受賞。ご自宅へ訪ねると、来年ダイヤモンド婚 長年一緒にテニスを楽しまれた仲良しのご夫妻、揃って笑顔で迎えてくださった。床の間には子や孫から贈られた大好きな日本酒が並べられ、晩酌も楽しみのひとつ。

戦争中に生を受け十歳で終戦。中学が義務教育になって初めての一年生。始めは小学校校舎で、二年生から新校舎で学ぶ。ソフトテニス部を仲間十人と創部、隣接の田んぼを埋めてコートづくりも部員で行った。創部仲間とはコロナ禍以前まで年に一度集まり、テニスや食事をしながら当時の話に花を咲かせた。



令和元年静岡市教育文化功労章を受章された小関先生と奥様

小学校では野球、その後は中高大とソフトテニスを続け、掛川西高校時代に体調を崩したことから選手ではなく指導者になりたいと考えようになり、静岡大学教育学部で小中高の教員免許を取得。卒業後に小学校で四年間・中学校で三年間・高校で三十一年間（焼津水産・清水工業・静岡・静岡定時制・島田、最後の四年間は教頭）退職後専門学校で十六年間の五十四年に渡り教員生活を送った。

静岡は、昭和四十九年四月（平成五年三月）の十九年間と一番長く勤めた。活気ある生徒に囲まれ、職員仲間にも恵まれ、教員の醍醐味を味わえた学校だった。始めは野球部長を担当し人との繋がりを広

第19回同窓会 ゴルフ大会

優勝 白石明史氏（第76回卒）
レディーズ優勝 芝原辰子氏（第77回卒）



優勝した白石明史氏。トロフィーが伊藤副会長より授与された。



レディーズ優勝の芝原辰子氏。山本幹事長より賞品を授ける。

組織委員会主催による同窓会ゴルフ大会が十月十九日（水）リバー富士CCで九十二名の参加者により開催された。当日は涼しい天候で心地良いゴルフ日和となった。

表彰式では待月楼の御節（約5万円）が提供され、全員でジャンケンをして盛り上がりました。興津氏（76回）がゲットしました。尚、音楽部OBより定期演奏会開催の為の募金活動が行われました。

・準優勝 秋山廣志氏（71回）



昭和54年 東海総合体育大会優勝（右端 小関先生）

・第3位 川島貞雄氏（74回）
・レディーズ準優勝 増井美恵子氏（80回）
【寄贈者芳名】
下村会長（62回）伊藤副会長（69回）石垣副会長（66回）関原副会長（77回）山本幹事長（83回）河口元総務委員長（61回）八千代寿し鐵・大塩正一（63回）イチウロコ・佐野敏夫（63回）鈴木輝夫（72回）パブ・媛・吉田順子（73回）関東支部・高山房之（74回）入船鮎・川澄真一郎（77回）待月楼・八木章夫（79回）昇菊・両角昇吾（83回）原川副幹事長（72回）中山事務局長（76回）岡本政俊ゴルフ長（62回）古牧組織委員長（71回）
（敬称略・順不同・中）